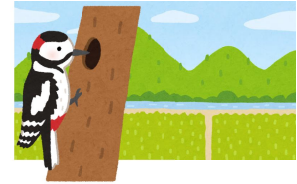


## 校長室の窓



令和8年3月24日

学校だより第12号より

### ～月立の空の下 ともに子供たちを育んだ一年～

3月に入り、月立にも春の訪れが感じられるようになってきました。ある朝、バスで登校してきた子供たちを迎え、学校へ続く坂道を一緒に歩いていると、里山の方から「カタカタカタ…」と音が聞こえてきました。子供たちは「キツツキだね」と話していました。雪が積もれば雪合戦をし、凍った水たまりを見つけては氷を割って遊び、春めいて雪解けが進めば法面を元気に駆け上がっていく子供たち。この一年、子供たちは月立の豊かな自然の中で、季節の移ろいを全身で感じながら学校生活を送ってきました。

先日、本校では卒業式と修了式を無事に終えることができました。6年生は月立小学校での学びと思い出を胸に立派に巣立ち、1年生から5年生までの子供たちも、それぞれの学年の学びを終えて成長した姿を見せてくれました。

この一年を振り返ると、子供たちが素直にのびのびと生活しながら、一人一人が自分らしさを伸ばしながら成長することができたと感じています。学校が、子供たちにとって安心して過ごせる居場所となっていることをうれしく思います。

そのような子供たちの育ちを支えてくださったのが、保護者と地域の皆様のお力でした。保護者の皆様には学校の様々な活動に積極的に参画していただき、こだま隊をはじめ多くの地域の皆様には、各学年の体験活動において講師や見守りとして温かいご支援をいただきました。そのおかげで、子供たちは色とりどりの体験学習に取り組むことができました。

予測の難しい時代を生きる子供たちには、学力だけでなく、人との関わりの中で自分を見つめながら、よりよく生きようとする力が求められます。その力を育むためには、学校だけでなく、家庭や地域の参画が欠かせません。月立小学校は、地域・家庭・学校が力を合わせて子供たちを育てる、恵まれた協働の姿を実現していると感じています。

これまで本校の教育活動を支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。今後も「子供を真ん中においた教育」を地域・家庭とともに進め、子供たちを心豊かに育てるとともに、ふるさと月立への愛着と誇りを育ててまいります。

本年度も、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。